

「 合唱 」

～ 記憶に残る学年合唱にするためには・・・ ～

本題材で育成する資質・能力
(学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日 時 令和元年9月18日 13:00～13:50
- 2 学 年 第3学年2組 (男子23名 女子19名 合計42名)
- 3 場 所 本館3F 音楽室
- 4 題材について

○題材観

本題材は、中学校学習指導要領音楽（平成29年）の〔第2学年及び第3学年〕（1）「A表現」（1）ア「歌詞表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。」イ（ア）「曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解すること。」を扱う。

今回教材として取り上げた曲は、例年10月に行われる尾道市中学校音楽コンクールでの自由曲として選曲したものである。今年度は開催中止ということになったが、生徒がこれまで学んできた技能を生かして、曲想を味わうことによって、それぞれの曲にふさわしい自己のイメージや感情を広げ、思いや意図をもって創意工夫することと、自分の担当する声部と他の声部の役割を理解し、全体の響きとの関わりを理解して表現の工夫をしながら合わせて歌う能力を高めることをねらいとしている。

○生徒観

本学級の生徒は、男子23名、女子19名の学級である。合唱の授業では、パートリーダーを中心に協力する姿勢や、意欲的に学習に取り組む姿勢がみられる。以下のアンケートは9月上旬に3学年全員に実施したアンケートの結果である。

	あてあまる		肯定的	あてはまらない		否定的
	そう思う	やや		あまり	まったく	
①音楽の学習が好き	69%	26%	95%	4%	1%	5%
②歌うことが好き	56%	33%	89%	10%	1%	11%
③合唱することが好き	38%	37%	75%	22%	3%	25%
④合唱をするときに、歌詞の内容を味わっている	32%	49%	81%	16%	3%	19%
⑤歌詞（言葉）の発音や発声の仕方を工夫している	45%	42%	87%	12%	1%	13%
⑥歌うときに音符や休符の長さを意識して歌っている	53%	31%	84%	15%	1%	16%
⑦歌うときに音楽記号（強弱記号など）を意識している	48%	37%	85%	12%	3%	15%

この結果から、音楽の学習に対する意欲が高いことが分かる。しかし、歌を歌うことや合唱をすることでは、否定的な評価が多数見られる。

これらの実態から、合唱をする喜びを分かち合えるよう、ペアやグループ活動を取り入れたり、電子機器を使用し客観的に自分達の合唱を聴いたりしながら、生徒に音楽表現の変化を感じ取らせ

たい。また、歌詞の内容を味わいながら歌えるよう、ホワイトボードを有効活用し、友達の手助けや感じ方を共有し、歌詞の内容を深めていきたい。

○指導観

指導にあたっては、歌詞から伝わる思いや意図を汲み取り曲にふさわしい表現の工夫を行う力をつけたい。この力を身につけさせる過程として、情報収集の場面で、曲想を感じ取らせ、歌詞が持っているメッセージを理解する。整理・分析場面では、実際に歌いながらふさわしい表現の工夫を行うため、ボイスレコーダーやiPadを使用し、客観的に自分達の歌声を聴き、模範演奏に近づけられるよう、意見の交流や歌いながら表現の工夫を行う。その際、個人思考では、書く活動を取り入れ自分の思いや意図をもたせる。表現の工夫が個人の物だけににならないように、拡大楽譜を用意し、全体で表現の工夫を統一させる。

また、本題材で取り扱う曲は卒業・進路選択を控える生徒たちに、この曲を通じて、自分の未来を、歌で繋げながら、学年合唱をする意味について興味関心を高めていきたい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

資質・能力	知識・スキル			意欲・態度	
	表現力・コミュニケーション能力			主体性	
レベル1	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	（話す） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまずきいている。	（やりとり1回） ○聞いて質問することができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。
レベル2		（わかりやすく伝える） ○自分の考えや意見をわかりやすくまとめ、自分のことばで表現することができる。	（聴く） ○話の組み立て、構造を考えながら伝え、相手の意図や要点を整理しながらきくことができる。	（やりとり2回） ○さらに深めた質問ができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル3		（説得する） ○自分の考えや意見をわかりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で表現することができる。	（訊く） ○相手の考えについて根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	（やりとり3回以上） ○質問の後に自分の意見を述べ、内容を深めることができる。	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。

6 単元目標

- 歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【音楽への意欲・関心・態度】
- 曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて理解し、思いや意図をもっている。【音楽表現の創意工夫】
- 全体の響きや各声部の役割、強弱の変化等を創意工夫して合わせて歌う技能を身につけている。【音楽表現の技能】

7 評価規準

音楽への意欲・関心・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
・希望や勇気を与えてくれる歌詞と曲想を結びつけ、表現の工夫をして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・歌詞の内容と曲想の違いを理解している。 ・曲想を感じ取り、音楽の構造を理解している。	・全体の響きや各声部の声などを聴きながら、役割を意識して歌うことができる。 ・ユニゾンと重なる所、追いかけて歌う所の声質や響きを変えて歌うことができる。

8 指導計画（全7時間）

過程	次	学習内容（時数）	観 点			評 価	
			関意	工夫	技能	評価規準	資質・能力（評価方法）
プロローグ（単元を貫く問い） 記憶に残る合唱にするためにはどうすれば良いだろう。							
課題の設定 情報収集	1	楽曲を聴き、楽曲の雰囲気と歌詞を理解する。 （1時間）【本時】	○			・希望や勇気を与えてくれる歌詞と曲想を結びつけ、表現の工夫をして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	【主体性】（行動観察・ワークシート）
整理・分析	2	強弱記号を意識しながらパート練習を行う。 （3時間）		○		・曲想を感じ取り、音楽の構造を理解している。	【主体性】（行動観察・ワークシート）
まとめ・創造・表現	3	記憶に残る合唱にするためには・・・歌詞の内容と曲想を結びつけ合唱を行う。 （2時間）		○		・歌詞の内容と曲想の違いを理解している。	【コミュニケーション能力】（行動観察・ワークシート）

実行・振り返り	4	パートの役割と楽曲の構成を理解して歌い方を工夫する。 (1時間)	○	・全体の響きや各声部の声などを聴きながら、役割を意識して歌うことができる。 ・ユニゾンと重なる所、追いかけて歌う所の声質や響きを変えて歌うことができる。	【表現力】(行動観察・ワークシート)
---------	---	-------------------------------------	---	---	--------------------

エピローグ (単元を貫く問いの解決)

一人一人が、曲想を感じ取り、歌詞の内容を理解することで、表現する内容が豊かになり、一体感のある合唱ができる。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・楽曲を聴き、楽曲の雰囲気と歌詞を理解する。

(2) 本時の評価規準

- ・歌詞の内容と曲想を理解している。【音楽表現の創意工夫】

(3) 準備物

- ・楽譜、ワークシート、TV、ホワイトボード、iPad

(4) 学習の流れ (1時間目/全7時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準 [観点] ★資質・能力 (評価方法)
1 既習事項の確認。[10分]		
既習曲を歌う 模範演奏を聴く	◇ 聴いてくれている人を感動させるためにはどう歌えばよいだろう。	
予測される生徒の考え ・強弱記号も気を付けて歌う。・表情を柔らかくする ・歌詞の内容を理解する		
2 本時の課題を設定する。[3分]		
本時の目標の確認		
学習課題 記憶に残る合唱にするためにはどうすればよいだろう。		
	◇ 日比崎中学校の伝統として、最高学年の歌声を後輩に受け継ぐことを知らせる。また卒業を迎えるにあたって、中学校時代の友だちはかけがえのない存在だということも意識させる。	
3 ねらいを確認する。[2分]		

導入の工夫

単元を貫く問い

ワークシート

	◇ ねらいについて、生徒の思いを聴きながら提示する。	
ねらい 楽曲を聴き、楽曲の雰囲気と歌詞を理解する。		

4 情報を整理・分析し、課題解決をする。[15分]

歌詞の内容について考える (グループ)	◇ 表現の工夫が行いやすいように、予め4人グループをつくり、グループワークを行わせる。 ◇ 考えさせる歌詞の内容を分かりやすくするために各グループにつき一つ考えさせる。 ◇ 歌詞の内容、言葉の発音に注目させ、ふさわしい表現を考えさせる。 ◇ ワークシートに表現の工夫を記入させる。 ◇ グループで練習をしながらふさわしい表現の工夫を確認する。 ◆ 歌詞と曲想を結び付けて考えるのが難しい場合は、強弱記号や音楽記号に注目させ考えさせる。	★コミュニケーション 【行動観察・ワークシート】 ・歌詞の内容と曲想を理解している。〔音楽表現の創意工夫〕【行動観察・ワークシート】
------------------------	--	--

5 課題解決について発表をする。[10分]

全体交流をし、表現の工夫を一つにまとめる	◇ 全体交流では、歌いながらふさわしい表現の工夫を考えさせる。 ◇ 黒板にホワイトボードを掲示し、歌で発表を行う。その発表に対し、よりふさわしい表現の工夫を他のグループから出してもらい、表現の工夫を深めさせる。 ◇ ふさわしい表現の工夫を行えたら、拡大楽譜に記入し、生徒の楽譜にも記入させる。	
----------------------	--	--



予測される生徒の考え

A評価 ・「証」には、それぞれの目標に向かい別々な道へ歩みだしていく内容を描いているので卒業、進路決定に向けて勇気を持って前に進んでいこうという思いを表すために、歌詞の意味を追求して歌う。
 ・「前を向きなよ」から「僕も歩みだす」で終わる歌詞なので自分が思う仲間や大切な人への想いを込めて歌う。
 ・一人ではない。常に自分の周りには必ず支えてくれる人がいてからこそこの今がある。中学校時代の親友は大人になってもかわらない。色んな場面で応援してくれている人がいることを感じて歌う。

B評価 ・「証」には、仲間を意識した歌詞が書かれている。
 ・冒頭の「前を向きなよ～」は失敗しても、躓いても自分の周りには支えてくれる仲間がいる感じがする。
 ・自分が思う仲間や大切な人への想いを込めて歌っていく。

6 学習のまとめをする。[5分]		
全体で主旋律を歌う。	◇ 表情や歌詞の内容について理解することで表現に変化が現れることを感じさせる。	
7 本時を振り返り,次時につなげる。[5分]		
○振り返りを書く。		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>生徒の振り返りの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を理解することで、自然に声の大きさを変えながら表現することができた。 ・歌詞の内容と曲想が一致しており、理解することでとても歌いやすかった。 ・歌詞の内容を理解すると表現が違って聴こえて驚いた。 </div>		

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	歌詞の内容と曲想を繋げて考えることができた。
B（合格）	歌詞の内容を考えることができた。
C（乗り越えさせたい実態）	歌詞の内容を考えることができなかった。

(5) 板書計画

<p>単元 合唱</p> <p>学習課題</p> <p>記憶に残る合唱にするためにはどうすればよ いだろう。</p> <p>ねらい</p> <p>楽曲を聴き，楽曲の雰 囲気と歌詞を理解す る。</p>	<p>拡大歌詞</p>	<p>生徒の予想解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ○後ろを向かず前を向いてい く気持ちをもって歌う ○大切な人への想いを込める ○支えてくれる人がいること を実感して歌う。 ○傷つけあったり許しあつた りできるのは友だちの証だと 感じながら歌う
---	-------------	---